

平成 27 年度における経営協議会学外委員からの  
意見を踏まえた法人運営の改善について

○ 平成 27 年 5 月 19 日 第 1 回経営協議会における意見

モニター留学の成果を、語学力だけでなく、視野の広がり、意欲等も含めた総合的な判断基準で時系列的に評価を行う仕組みを考えるとよいのではないか。

〈 対 応 〉

モニター留学事業の対象学生には、留学前、帰国直後、帰国 3 か月後において次の設問に回答させることとしている。

- ・ ①英語、②専門科目、③それ以外に費やす学習時間がどのように変化したか。
- ・ 在校中・卒業後に長期留学をしたいか。
- ・ 将来海外で勤務したいか。

これらへの回答状況から、モニター留学をきっかけとした「学習意欲」や「海外での留学・活躍志向」の変化を読み取り、留学の効果について分析し制度設計に生かしていくこととしている。

○ 平成 27 年 6 月 16 日 第 2 回経営協議会における意見

他大学との連携という観点から、クロスアポイントメント制度を導入するとよいのではないか。

〈 対 応 〉

他大学の規則や運用実績を参考にしつつ、本学としても制度設計を考えていきたい。

○ 平成 27 年 10 月 23 日 第 4 回経営協議会における意見

財務レポートに大学として力を入れている点についての情報を掲載して欲しい。

〈 対 応 〉

財務レポート 2015 において、決算情報以外で注目していただきたいところとして、「トピックス」と「自己財源の確保」の項目を設けている。

2016 年版について掲載事項は未定であるが、広い観点から検討していく。